

7/20 子ども達へスポーツドリンクを寄贈

田布施町社会福祉協議会から、町内小・中学校の全児童生徒に、スポーツドリンクが1人5本ずつ寄贈されました。(毎週1本ずつを5週間)

社会福祉協議会の金長広典会長は「元気で夏を乗り切るための一助になれば」との思いを述べられ、参加した町内小・中学校の児童生徒代表の古田萌華さん(田布施中学校3年)は、「いただいたドリンクを飲んで、毎日を元気に過ごしたい」と感謝の気持ちを伝えました。



7/1 暑中見舞いはがきを寄贈

田布施郵便局と田布施ライオンズクラブ(田布施LC)のご協力で、『サンキューかもめ(くじ付き暑中見舞いはがき)』の目録の寄贈を受けました。

これは、町内小・中学校の全児童生徒に1枚ずつ渡されます。

田布施LCの坪倉浩己会長は、「町内の子ども達が、大切な人に手書きで気持ちを伝える機会を増やしたい。手紙の良さを再認識してほしい。」との気持ちを述べられました。



まちのできごと

Tabuse
Town News



6/30 中学校で農地整備事業紹介映像放映

田布施町を中心に『国営農地整備事業』を実施している農林水産省の南周防農地整備事業所が、田布施中学校の生徒の皆さんに事業のPR映像の放映を行いました。

給食時の校内放送で、事業所の職員が農地整備の目的を説明し、事業の内容を紹介する動画を放映しました。

生徒たちは、映像を通して、農業の大切さについて熱心に学んでいました。



6/22 『地産地消』で学校給食

町の学校給食では、学期ごとに『地場産給食週間』を設け、町内生産者や田布施農工高校から食材を購入することにより、町内産、県内産の食材を積極的に消費する活動を進めています。令和元年度、本町の地場産食材使用率は93.6%(県内第2位)で、10年以上の間3位以内を保つ結果となりました。

『地産地消』とは、「地元で採れた食材を地元で消費しよう。」という意味の言葉です。

(写真:田布施農工高校が食材を納品している様子)

